

■現地研修 2 日目： 7 月 10 日（月）

前日の長時間移動、そして深夜着でのハードスケジュールにもしっかりと対応し、朝 7 時 00 分滞在寮（Carmichael Hall）ロビーには元気な顔が揃いました。間違いなく暑い一日となることを確信するようなまぶしい日差しのもと、早速に毎日の食事会場となるカフェテリアへと向かいました。



カフェテリアには、すでに数名の外国人生徒やおそらくは学部生、大学関係者らの姿も。さすがに今朝からのアクションは・・と聞いていましたが、ふと周囲を見ると、2 名の中部生徒が 1 名の大学生（おそらく）と和やかに話す姿が目に入ってきました。ほどなくすると、彼らの姿に触発されてか、こちらのテーブル、あちらのテーブルと果敢に攻めていく姿が。そして、その景色の向こうには何やら獲物を狙う（かのような）明らかに挙動不審な動きも・・。しかしながら、後者も含めてさすがに中部生、一気にスイッチが入った動きには澁刺とした力強さを感じます。

午前中は、明日からのクラス分けを決めるための「プレイスメント・テスト」を実施。その後、運営団体である Embassy（エンバシー）担当者からのオリエンテーションが実施されました。例年同様、同施設に滞在する他国生の数は決して多くないため、いずれのクラスも日本人が多数を占めることは間違いありませんが、そのような環境でこそ研修の価値をどう見出すか、高めるかを個々に考え、アクションに移すことを期待します。（プレイスメント・テストの結果は、明日発表されます。）



昼食後、地下鉄利用の練習を兼ね、全員で市内中心部、米国最古の都市公園「ボストン・コモン」の目の前に位置するパークストリート駅へ。初日は、深夜着により街の景色をしっかりと眺めることができませんでしたが、チャールズ川から望む、プルデンシャルセンターや、ハンコックタワー、そして対比的に川岸に広がるのどかな遊歩道や木々の緑、対岸にはMIT（マサチューセッツ工科大学）や科学博物館などを眺め、あらためてボストンの美しさを感じ、アメリカに来ていることを実感したことでしょう。多くの生徒が地下鉄の窓からニューイングランドの特徴的な美しい景色をカメラにおさめていました。その後、パークストリート駅（ボストン・コモン）から徒歩にてフリーダム・トレイルの一部（数か所）を、グループリーダーの案内に従い、1 時間強ほどの散策をいたしました。



夕食後は、他国生数名も参加しての合同アクティビティーが実施されました。滞在寮前の芝生広場にてスポーツを楽しんだ後は、ロビーにてゲームをするグループ、また屋外でのアクティビティーを楽しむ生徒、と少しなまった身体をほぐし、時差ボケの眠気を飛ばすにはちょうどいい運動になったことでしょう。



その後、今後のスケジュール確認と、3名の生徒からの全体の動きへの投げかけ（注意喚起）がされました。具体的には歩道を移動する際、あるいは地下鉄ホーム等にて周囲へ迷惑をかけないこと、そして自分たちのより効率的で安全な動きに対する提案でした。最後、体調管理と本日は皆しっかりと睡眠をとること（明日からのパフォーマンス up のために）が投げかけられ本日の研修は終了となりました。

明日夜は研修前半での振り返りと個々の目標確認のためにミーティングを行う予定としています。

